

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,426	△5.8	509	△47.7	594	△37.4	331	△42.3
24年3月期第3四半期	17,437	4.3	974	14.9	950	1.6	574	26.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 376百万円 (△24.8%) 24年3月期第3四半期 500百万円 (10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	30.67	—
24年3月期第3四半期	53.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	26,085	15,173	58.2
24年3月期	26,230	15,067	57.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,173百万円 24年3月期 15,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,096	△0.2	923	△19.6	920	△23.2	526	△26.9	48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,302,497 株	24年3月期	11,302,497 株
25年3月期3Q	500,506 株	24年3月期	500,473 株
25年3月期3Q	10,801,998 株	24年3月期3Q	10,802,031 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 四半期損益計算書関係注記	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(売上高について)

当第3四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、昨年4月の保険償還価格改定による、当社取扱商品の販売単価の下落に対して、販売数量の増大に取り組んでまいりました。

EP/アブレーション等の自社製品を中心として、販売数量が前年同期に比べて増加したほか、新商品発売が寄与いたしましたものの、保険償還価格引き下げの影響を吸収するまでには至らず、また、前期に一部商品の取り扱いを終了したことも影響し、売上高は減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は164億2千6百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

&lt;品目別売上高&gt;

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	増減率
リズムデバイス	7,977	6,892	△13.6%
EP/アブレーション	3,764	4,430	17.7%
外科関連	1,764	1,865	5.7%
インターベンション	2,853	2,134	△25.2%
その他	1,077	1,103	2.4%
合計	17,437	16,426	△5.8%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル
外科関連	人工血管、人工心臓弁、人工弁輪、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

## (リズムデバイス)

リズムデバイスにおきましては、主力である心臓ペースメーカーの保険償還価格の引き下げ率が13.8%と大幅であったことから、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

また、ICD（植込み型除細動器）及びCRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）は、今後の成長が見込まれる領域として注力いたしましたものの、参入企業による競争が厳しさを増しており、販売数量は微増に留まりました。

以上により、リズムデバイスの売上高は68億9千2百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

## (EP/アブレーション)

EP/アブレーションにおきましては、心房細動の症例数の増加に伴い市場が拡大傾向にあることから、EPカテーテル、アブレーションカテーテルともに販売数量が増加いたしました。

さらに、昨年10月より本格販売を開始した心腔内除細動システム「SHOCK AT（ショック・AT）」が、医療現場において高い評価を獲得しており、同システムの専用カテーテルである「BeeAT（ビート）」が順調に販売数量を伸ばしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は44億3千万円（前年同期比17.7%増）となりました。

## (外科関連)

人工弁関連におきましては、昨年2月に発売した人工弁輪「MEMO 3D（メモ・3D）」が引き続き伸ばいたしました。また、人工心臓弁におきましては、機械弁から生体弁へと治療方法が移行している中、当社の取り扱う機械弁の販売数量が減少しておりましたが、当社においても本年1月より生体弁「Mitroflow（マイトロフロー）」の販売を開始いたしました。今後は「Mitroflow」の特長である広い弁口面積とコンパクトなサイズという点を訴求することにより、早期に市場シェアの獲得を図ってまいります。

さらに、人工血管におきましては、「J Graft（ジェイ・グラフト）」の販売数量の増加により、保険償還価格引き下げの影響を吸収し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

以上により、外科関連の売上高は18億6千5百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

## (インターベンション)

ガイドワイヤーにおきましては、優れた操作性と高い耐久性を持つ「ATHLETE JOKER（アスリート・ジョーカー）」の寄与により、販売数量は前年同期に比べ33.0%増加いたしました。

バルーンカテーテルにおきましては、「LIFESPEAR（ライフスピーア）」シリーズが好調に推移し、販売数量が増加いたしました。しかし、保険償還価格の引き下げ率が20.9%と大幅であったことから、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上に加え、一昨年の12月に構造的疾患治療器具の販売を終了したことによる影響もあり、インターベンションの売上高は21億3千4百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

## (その他)

連結子会社において販売している血液浄化関連商品等のその他の売上高は、11億3百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(損益について)

### ①営業利益

保険償還価格引き下げに伴う販売価格の下落により、売上総利益率は前年同期に比べて0.6ポイント低下いたしました。また、自社製品のさらなる成長を図るために、積極的に設備投資および研究開発を行っていることから、減価償却費および研究開発費が増加したものの、経費予算の執行が一部遅れていること等により、販売費及び一般管理費は前年同期に比べて減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は5億9百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

### ②経常利益

受取利息および為替差益等を、営業外収益として1億1千3百万円計上した一方、支払利息等を、営業外費用として2千8百万円計上した結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は5億9千4百万円（前年同期比37.4%減）となりました。

### ③四半期純利益

平成23年12月のAGAメディカル社商品の独占販売契約終了に伴い、薬事申請中の同社商品に関する追跡調査業務等に係る対価を2億2千2百万円、さらに戸田ファクトリーおよびリサーチセンターに係る補助金を2千5百万円、特別利益として計上いたしました。その一方、固定資産除却損を特別損失として7千3百万円計上したこと等により、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は3億3千1百万円（前年同期比42.3%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結貸借対照表に関する分析)

### ①資産

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ8億3千2百万円減少し、167億3千8百万円となりました。これは主として現金及び預金が8億6千2百万円、受取手形及び売掛金が3億6千6百万円、繰延税金資産が2億6百万円減少した一方で、たな卸資産が5億5千9百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ6億8千8百万円増加し、93億4千6百万円となりました。これは主として有形固定資産が4億8千6百万円、長期貸付金が2億9千3百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から1億4千4百万円減少し、260億8千5百万円となりました。

### ②負債

当第3四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ5億8千6百万円減少し、75億1百万円となりました。これは主として未払法人税等が4億6千7百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ3億3千5百万円増加し、34億1千万円となりました。これは主として長期借入金が3億1千6百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から2億5千1百万円減少し、109億1千1百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ1億6百万円増加し、151億7千3百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を3億3千1百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、販売費及び一般管理費予算の執行が計画に対して遅れておりますが、当該予算につきましては第4四半期の執行を見込んでおりますため、平成24年4月27日に開示した通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得したリース資産以外の有形固定資産（平成10年4月1日以降に取得した建物附属設備以外の建物を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,531千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。



4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,594,722	1,732,120
受取手形及び売掛金	6,842,792	6,476,628
有価証券	405,384	405,605
たな卸資産	6,713,201	7,272,575
繰延税金資産	427,629	220,909
その他	592,765	635,719
貸倒引当金	△4,765	△4,723
流動資産合計	17,571,731	16,738,835
固定資産		
有形固定資産	4,222,753	4,709,492
無形固定資産		
のれん	3,068	—
その他	36,300	31,257
無形固定資産合計	39,368	31,257
投資その他の資産		
その他	4,403,674	4,613,352
貸倒引当金	△7,334	△7,584
投資その他の資産合計	4,396,339	4,605,767
固定資産合計	8,658,461	9,346,518
資産合計	26,230,193	26,085,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,454,368	1,680,316
短期借入金	3,870,000	4,170,000
1年内返済予定の長期借入金	312,000	262,000
未払金	885,996	667,566
未払法人税等	511,903	44,009
賞与引当金	30,847	273,806
その他	1,023,117	403,848
流動負債合計	8,088,231	7,501,546
固定負債		
長期借入金	587,000	903,000
長期未払金	576,836	434,454
退職給付引当金	1,357,348	1,448,105
役員退職慰労引当金	272,796	261,001
負ののれん	5,627	3,516
その他	274,995	359,984
固定負債合計	3,074,603	3,410,063
負債合計	11,162,834	10,911,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	10,996,940	11,058,200
自己株式	△351,492	△351,508
株主資本合計	15,088,817	15,150,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,458	23,681
その他の包括利益累計額合計	△21,458	23,681
純資産合計	15,067,358	15,173,743
負債純資産合計	26,230,193	26,085,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	17,437,081	16,426,373
売上原価	8,433,059	8,048,887
売上総利益	9,004,021	8,377,486
販売費及び一般管理費	8,029,375	7,868,194
営業利益	974,646	509,291
営業外収益		
受取利息	5,199	7,045
受取配当金	2,581	2,966
為替差益	—	46,948
負ののれん償却額	2,110	2,110
その他	33,591	54,397
営業外収益合計	43,482	113,467
営業外費用		
支払利息	16,470	22,635
為替差損	30,517	—
その他	20,795	5,495
営業外費用合計	67,783	28,131
経常利益	950,345	594,627
特別利益		
固定資産売却益	496	379
薬事承認権譲渡益	244,590	—
納入先引継による受入金	219,412	—
薬事申請業務引継による受入金	—	222,990
補助金収入	—	25,493
その他	10,651	—
特別利益合計	475,150	248,863
特別損失		
固定資産除却損	8,025	73,104
投資有価証券評価損	7,143	—
投資有価証券売却損	1,022	54,440
その他	450	250
特別損失合計	16,640	127,794
税金等調整前四半期純利益	1,408,855	715,696
法人税、住民税及び事業税	617,288	203,110
法人税等調整額	217,483	181,274
法人税等合計	834,772	384,385
少数株主損益調整前四半期純利益	574,082	331,311
四半期純利益	574,082	331,311

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	574,082	331,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,644	45,140
その他の包括利益合計	△73,644	45,140
四半期包括利益	500,438	376,451
親会社株主に係る四半期包括利益	500,438	376,451

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成25年1月29日付で、次の当社取り扱い商品について自主回収を行うことを決定いたしました。

- ・ ICD（植込み型除細動器）リード：商品名「アイソライン2CT」  
「アイソライン2CR」

本件は、商品の内部構造の損傷により、不適切な治療が引き起こされ、健康被害が発生する可能性があることによるものであります。

これによる財政状態に与える影響といたしましては、本件自主回収に伴うコストが今後発生する可能性があります。製造元と締結している独占販売代理店契約にもとづき処理して参ります。

## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	1,353,378	2,324,093
外科関連	368,456	300,580
インターベンション	180,375	310,433
その他	466,476	434,251
合計	2,368,686	3,369,359

## ②受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

## ③販売状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
	金額	金額
リズムデバイス	7,977,891	6,892,180
EP/アブレーション	3,764,390	4,430,946
外科関連	1,764,018	1,865,437
インターベンション	2,853,062	2,134,416
その他	1,077,718	1,103,393
合計	17,437,081	16,426,373

## (2) 四半期連結損益計算書関係注記

前第3四半期連結累計期間の特別利益に計上されている「納入先引継による受入金」は、平成23年2月28日付でセント・ジュード・メディカル(株)及びAGA MEDICAL CORPORATION社と締結したAGA社製商品の取扱い終了に関する「TERMINATION, TRANSFER AND TRANSITION SERVICES AGREEMENT」(以下、「TTSA」)に基づくものであります。

これまで当社は国内に心房中隔欠損閉鎖器具を初めて上市し、国内の総販売代理店として同商品の市場形成に努めてまいりました。このたび、TTSAに基づき、平成23年12月末をもって同商品の販売を終了するに際し、その対価として引継先から受け入れたものです。

当第3四半期連結累計期間の特別利益に計上されている「薬事申請業務引継による受入金」は、平成23年2月28日付でセント・ジュード・メディカル(株)及びAGA MEDICAL CORPORATION社と締結したAGA社製商品の取扱い終了に関する「TERMINATION, TRANSFER AND TRANSITION SERVICES AGREEMENT」(以下、「TTSA」)に基づくものであり、薬事申請中のAGA社製商品に係る追跡調査業務等の対価として引継先であるセント・ジュード・メディカル(株)から受け入れたものであります。